

平成29年度第3回GFVC推進官民協議会・
同インド部会

インドにおける農水産業・食品加工分野の投資環境概要

8th March 2018



NRI Consulting and Solutions India

7th Floor/Unit 2A, Tower A, Building No.5, DLF Cyber City
Phase III Gurgaon, Haryana, India 122 002

本日も話したいこと

農水産業の概況

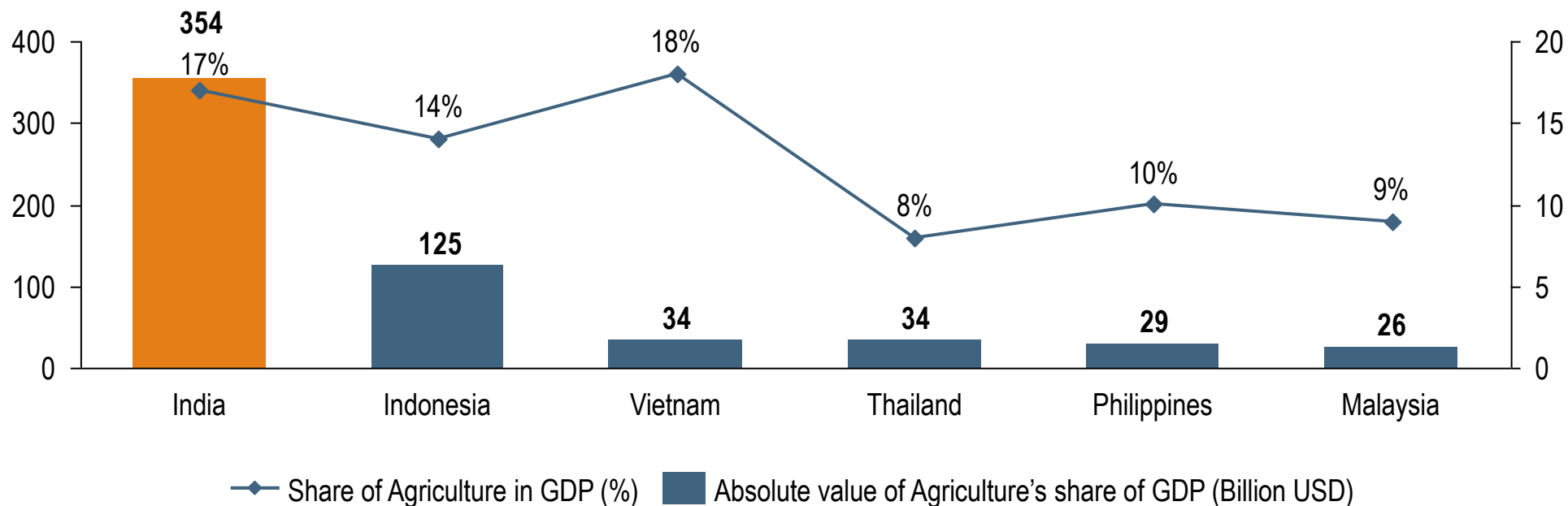
食品加工の概況

農水産業の概況

食品加工の概況

インドの2016年時点農業GDPは、約3,540億USDであり、国全体の17%を占める

Agriculture GDP (Billion USD) and share, 2016



インドでは、気候・土壌の多様性から様々なタイプの農産物を生産している

農業生産の多い州



主な農産物

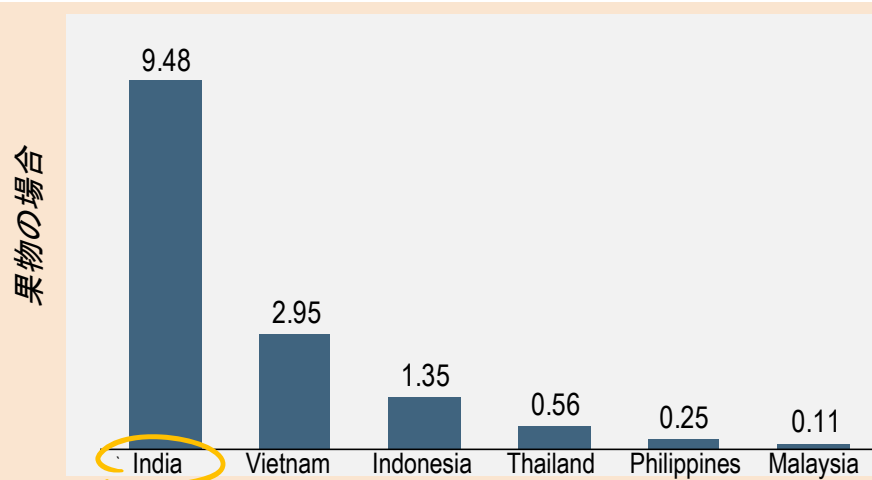
果物		生産量 (mil MT)		野菜		生産量 (mil MT)	
	Banana	1 st	29.2		Potato	2 nd	48.0
	Mango	1 st	18.5		Onion		18.9
	Citrus		11.6		Tomato	2 nd	16.3
	Papaya	1 st	4.9		Brinjal		12.6
	Guava	1 st	3.9		Cabbag e	2 nd	8.6

Note) World Rank in Production

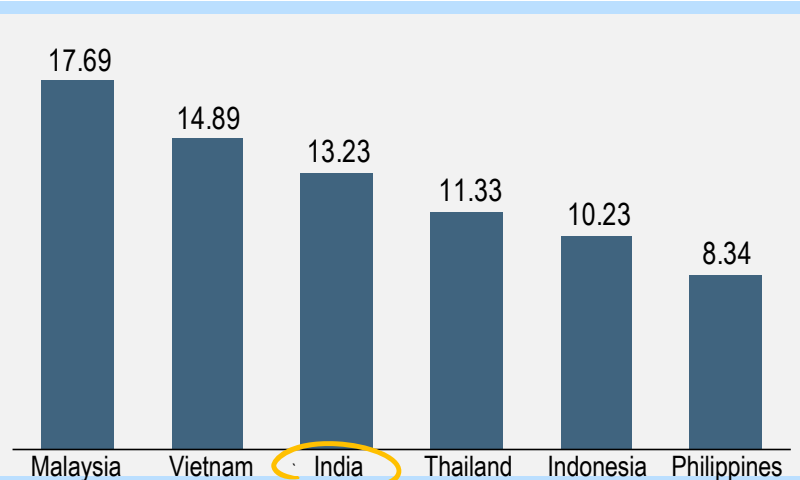
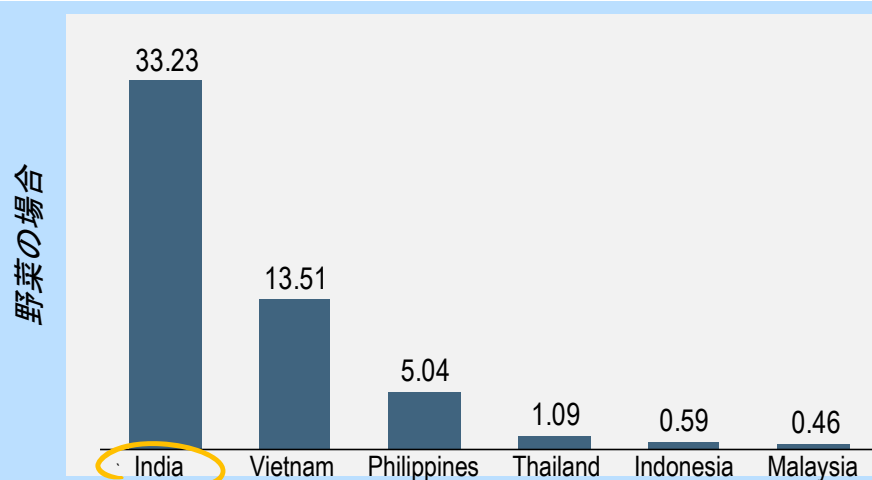
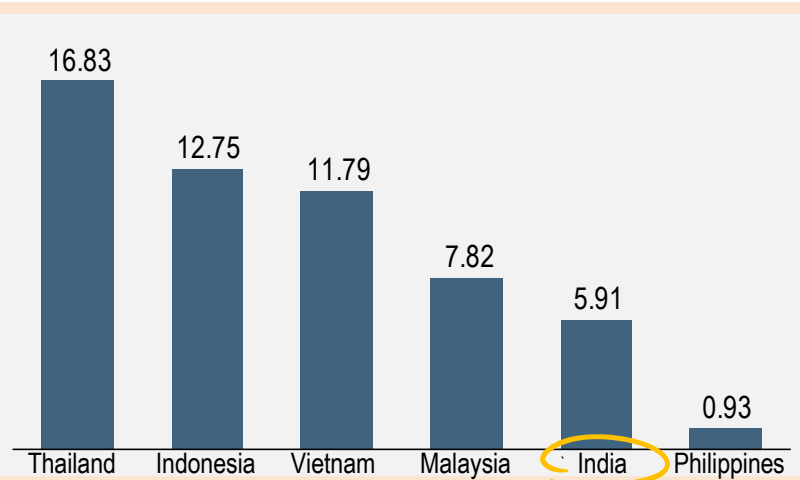
農業の概況

生産量ベースでは世界的に首位を獲得しているケースもある一方で、生産性については東南アジア諸国と比較しても低位

生産量 (mil ton), 2016



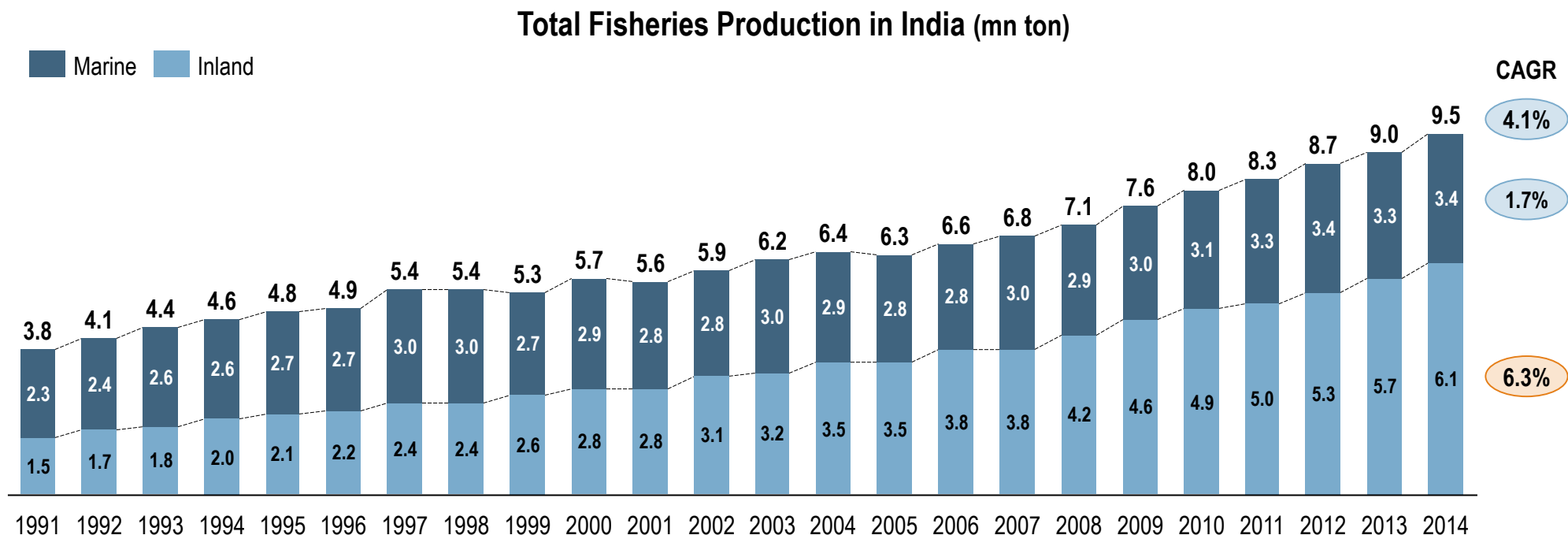
生産性 (ton/ha), 2016



水産業の概況

水産業における生産量増加は淡水(養殖含む)漁業が牽引 海水漁業はほぼ横ばいで推移

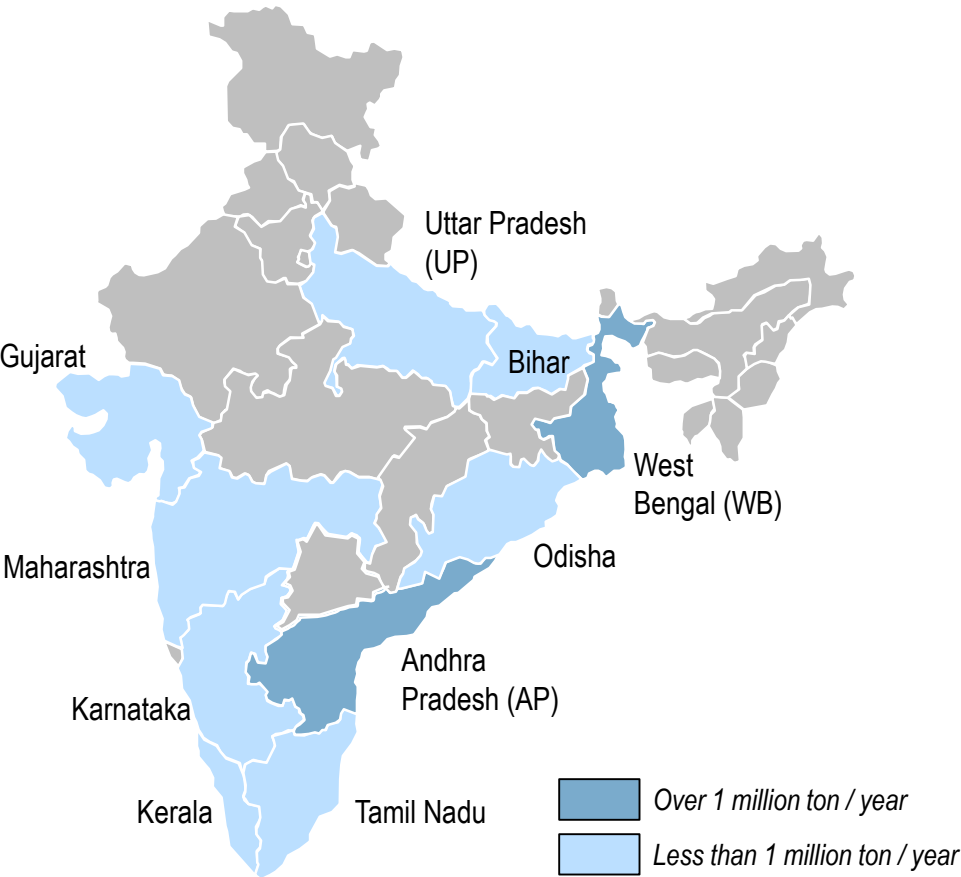
水産物生産量の推移



水産業の概況

西ベンガル州、AP州における生産量はそれぞれ他州の2倍以上に匹敵
ここ10年間では、AP州とカルナタカ州が10%に迫る成長率で生産を拡大

水産業を営む主な州



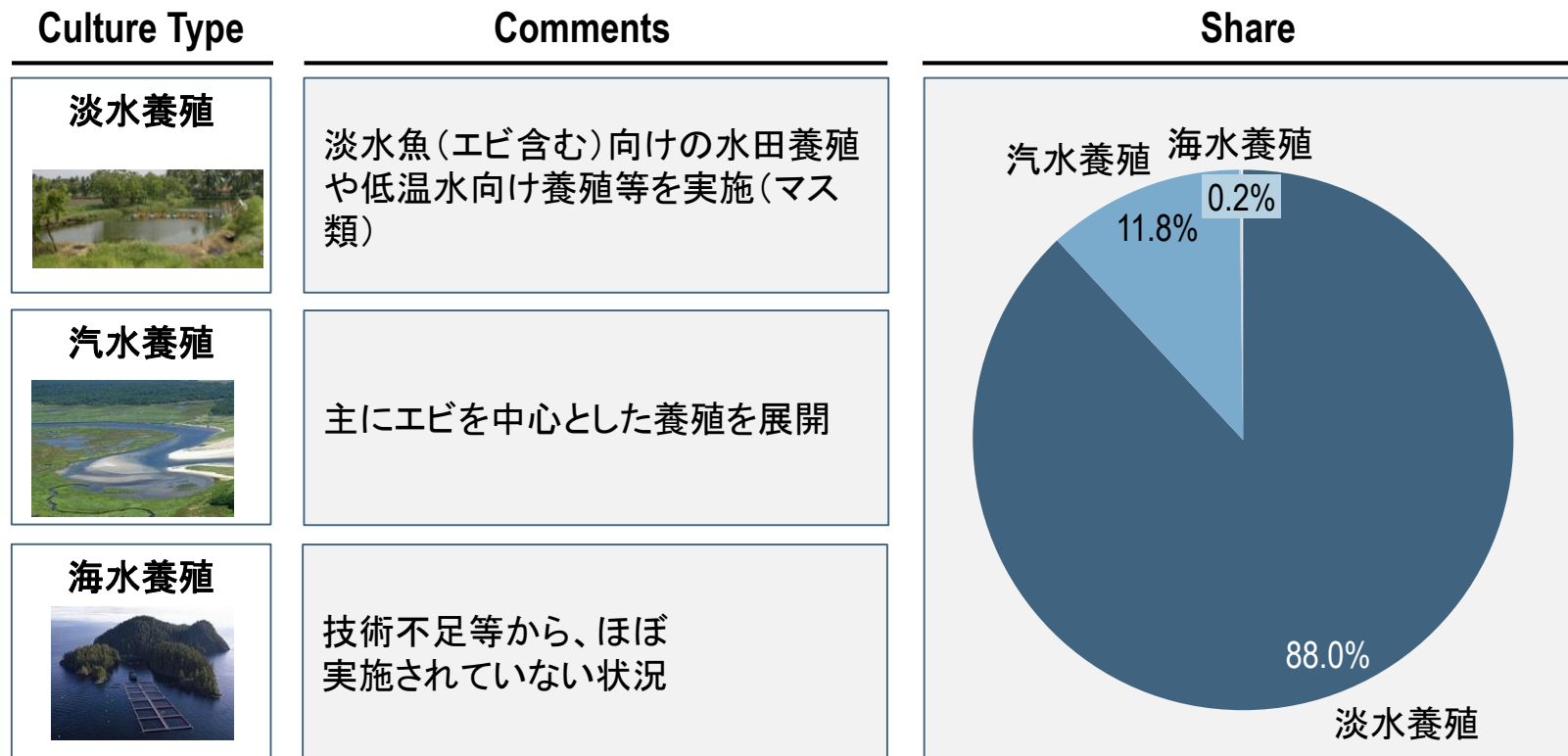
Top 10 Fisheries* producing states

State	Production, 2014 ('000 ton)	Growth ['04 – '14] (%CAGR)
Andhra Pradesh	2018.42	7.9%
West Bengal	1580.65	3.1%
Gujarat	793.42	1.9%
Kerala	708.65	0.3%
Tamil Nadu	624.30	2.8%
Maharashtra	602.68	1.0%
Karnataka	555.31	8.0%
Uttar Pradesh	464.48	5.7%
Bihar	432.30	5.0%
Odisha	413.79	3.0%
India Total	9578.97	4.1%

Note) Fisheries* includes both seafood and freshwater fishes and stats include production through both aquaculture and capture activities

インドで行われている養殖は淡水、汽水、海水の3タイプに分類できるが、約9割が淡水養殖であり、海上での沖合養殖等はほぼ事業化に至っていない

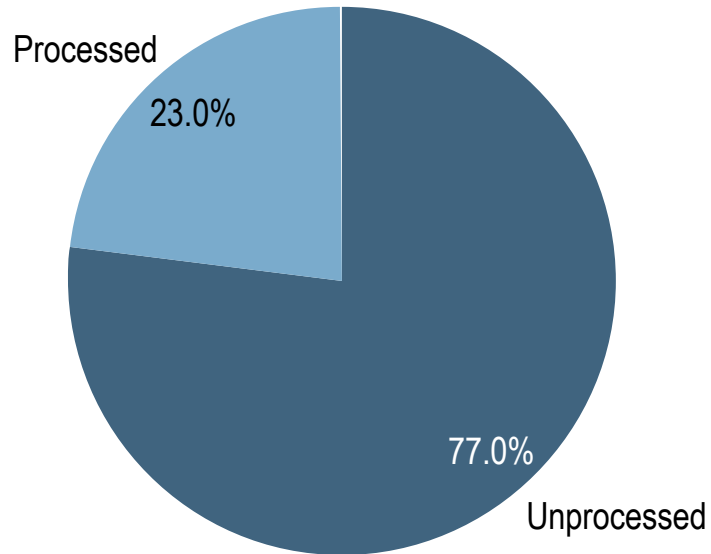
養殖のタイプ



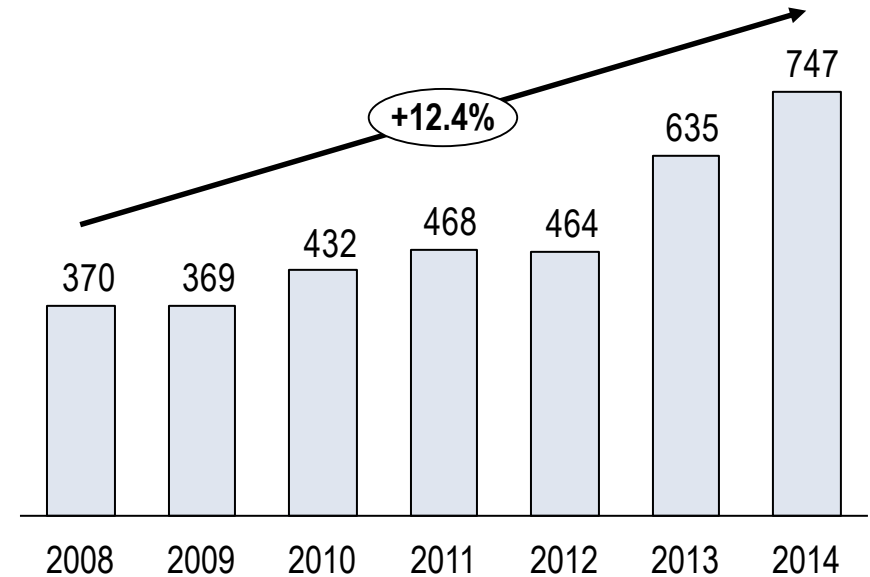
インドの水産業では7割以上の水産物が未加工の状態で流通している

Processing – Current Scenario

水産物の加工状況



Export of Value Added Products (USD millions)



- Value addition and product development especially RTE/RTC products for the domestic as well as export market
- Process value added products with Indian taste like fish/shrimp pickle, fish/ shrimp curry, skewers, marinated fish with Indian spices etc.

農水産業の概況

食品加工の概況

インドにおける食品加工市場は2,580億USD規模 2020年までには約2倍までに成長する見通し

概要

Agriculture Scenario

- 世界第二位の広大な農地 (約1億6,100万ha)
- 国内で20に分類される耕作地域、15の気候を有する

Food Resources

- 中国に次ぐ農業生産国
- 乳製品の最大生産国(146.3 mn MT)
- 世界第二位の青果物生産国(253.2 mn MT)
- 世界最大の水産物生産国(9.6 mn MT)
- 最大の畜産国 (512 mn animals)

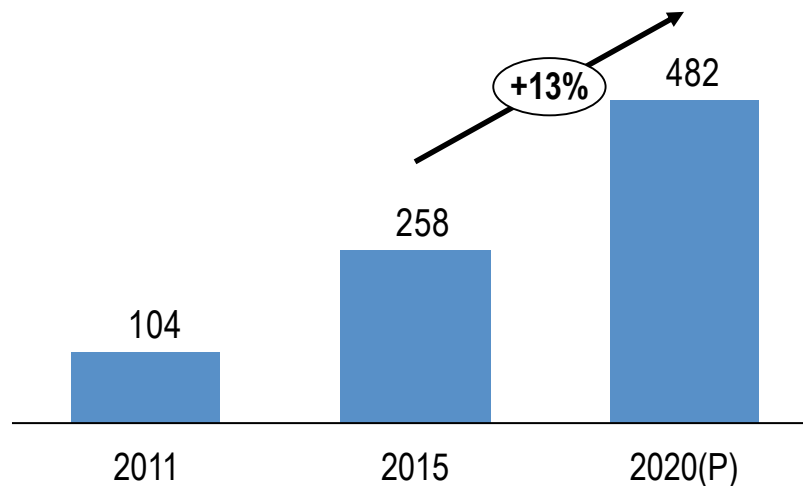
Food Processing

- 国内に37,445箇所の工場を有し、関連労働者は650万人にのぼる
- 食品加工製品の輸出額は約300億USD

市場規模

インド食品加工における市場規模

Unit - USD billion



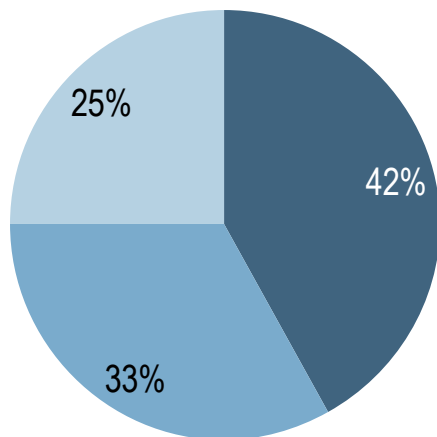
- 国内需要と投資が堅調に拡大していることから、2020年までには4,820億USD規模に拡大すると言われている

食品加工の概況

既にグローバル食品加工企業も参入しているが、
約4割以上は小規模の一次食品加工事業者が占めている状況

事業の統合状況-セグメント構成比

Consolidation Levels



■ Unorganised Sector ■ Small Scale Industries ■ Organised Sector

- 大規模事業者は二次加工以上へ移行し始めている状況
- 一方、小規模事業者は一次加工がメイン

主要企業

穀物系	   
果物・野菜類	 
乳製品	   
肉類(主に鶏肉)	  
水産物	 
菓子類	    

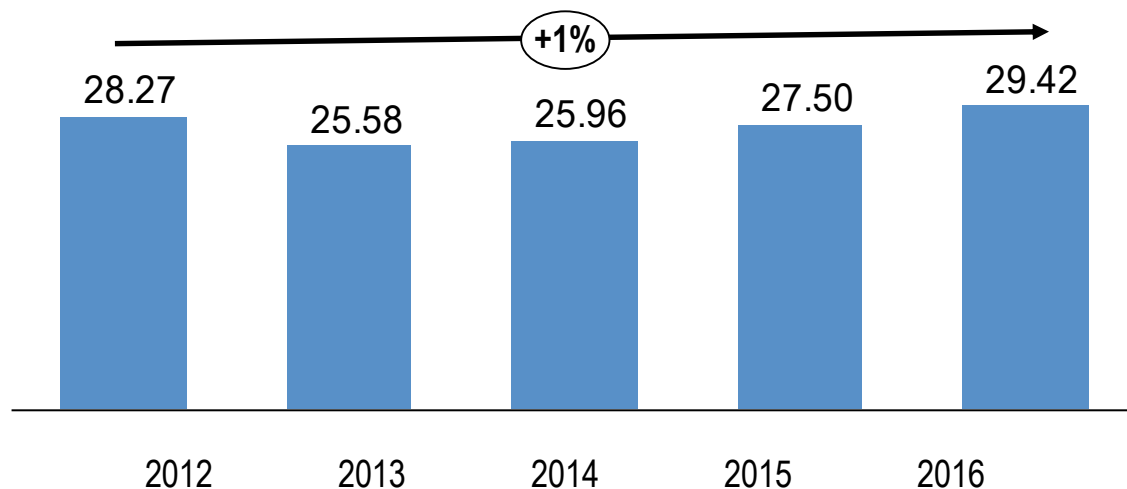
- 乳製品は既に大企業による支配が進んでいる
- 一方、果物・野菜類、水産分野において市場を支配している企業はほぼなし

インド国内における食品加工付加価値額の推移は過去5年間、ほぼ横ばい

食品加工分野の過去推移

食品加工による高付加価値額 (bil USD)

At Constant 2011-12 prices
1 USD = INR 52



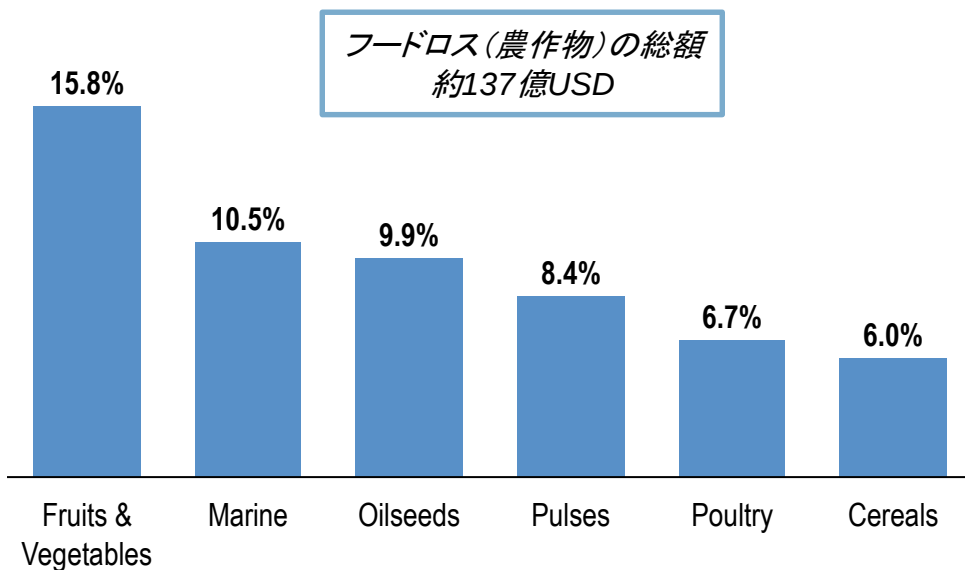
- 加工度合いの低さや輸出の停滞により、付加価値額も停滞している状況

食品加工の概況

低付加価値の主要因は「農水産物の廃棄量の多さ」、「2次加工以降の工場不足」であり、更なる付加価値向上の余地はあると考えられる

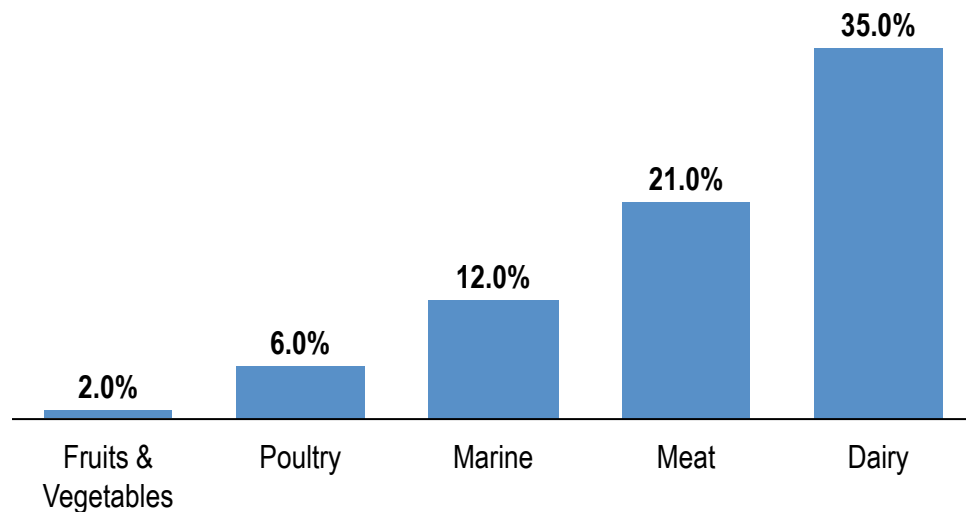
低付加価値であることの課題

2015時点のフードロス(農作物)の累積損失 (%)



- 果物・野菜セグメントにおいて、Guava (15.9%), Apple (10.4%) and Mango (9.2%)が最大のロスを産出している

食品加工のレベル (%)



- 2次加工、3次加工拠点が圧倒的に少ないことがレベルの低い要因

食品加工の概況

消費者による需要、政府支援の両側面から、 インドにおける食品加工分野は今後も拡大していくものと考えられる

成長要因

Demand

所得とホワイトカラー人口の増加

- 一人あたり所得が年率8%成長を実現することにより、食品への消費がさらに増加していくことが想定
- ホワイトカラーの労働時間の拡大によって、Tier1&2都市では加工食品の需要が高まる

Demand

外食産業の増加

- 外食がインド人の娯楽の一つとして定着
- ZomatoやSwiggyといったスマートフォンアプリにより、特に都市部の若者世代で、外食・デリバリーサービスの利用が拡大

Supply

政府支援

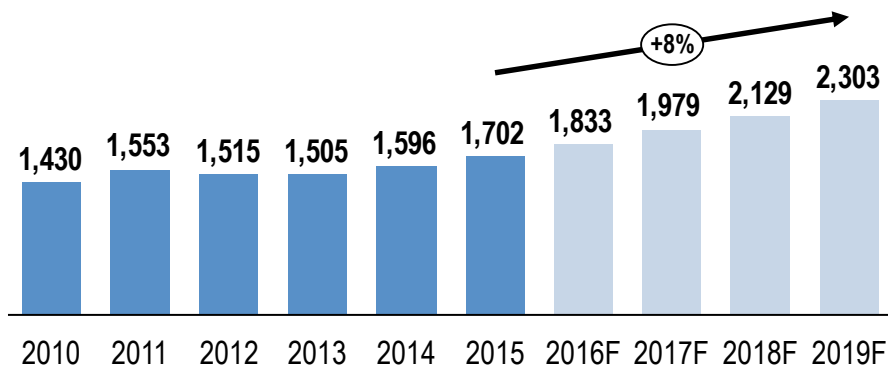
- 食品加工分野の100%出資が可能に
- メガフードパーク設置による生産キャパシティの増加
- コールドチェーン整備に向けた優遇策

Supply

投資額の増加

- インド政府によれば、2017年度までに、食品加工分野における200億USD以上の投資見込み
- 食品加工分野のFDI促進策の強化

一人あたり所得 (USD)



食品加工分野におけるFDI (USD mn)

In FY14, HUL, PepsiCo, Cadbury and Nestle announced significant investments

